

意見整理

第3回 公共事業の構想段階における計画策定プロセス研究会

- 計画検討手続きにおいて、プロセス管理も重要であり、全体工程の管理があるべき。
- 関係者も含めて「住民等」と定義しているが、従来型の、住民対事業者の2項的な気がしてしまう。「住民・関係者等」などの表現を考えるべき。
- 計画検討手続きの支援組織はあるのか。
- 委員会等は非常に重要である。その評価では、プロセス評価機能もある。また、「支援」の内容を提示した方がいいのではないか。
- 地方公共団体との連携があるが、住民参画手続きの中で行うのか、または計画検討手続きの中で計画策定者と一緒に行うのか明確にすべき。
- 計画の必要性については、定量的にどこまで示せるのかということが各分野での技術的検討で課題になると思われる。構想段階レベルでの情報を出すということで透明性が向上したことを国民に示す必要があるのではないか。
- データ構築については、各自治体との連携の元で、基本的なプラットフォームのあり方などを検討する等の考えを示すことも必要である。
- 複数案の評価では、埋蔵文化財などのように扱う内容は幅広いので、「技術的検討」では言葉の意味が狭く、「専門的検討」など用語について考える必要がある。